

# 固定 IP/PPPoE/DHCP 環境におけるインターネット接続設定

ご購入直後(初期状態)の AR550S にて、固定 IP/PPPoE/DHCP 環境から インターネットアクセスを行うための GUI 設定例です。

#### <手順1>

AR550S のスイッチポート(Port1~5)と、PC を UTP ケーブルで接続します。 eth0 ポートは何も接続しない状態にしておきます。

PCのIPアドレスは自動取得に設定いただくか、以下の値に固定してください。 IPアドレス: 192.168.1.2 ~ 192.168.1.254の中で空いているアドレス サブネットマスク: 255.255.255.0

初期状態の AR550S は、vlan1 (Port1~5)に IP アドレス 192.168.1.1/24 が設定されています。

AR550SのIPアドレスを変更する場合は、以下の手順を実施してください。 変更しない場合はこのまま**手順2**へ進みます。

- PC から AR550S へ Telnet で接続します。Windows の場合、
   [スタート]→[ファイル名を指定して実行]より、「telnet 192.168.1.1」を実行してください。
- 2. ログインプロンプトが表示されますので「login:」に「manager」、 「password:」に「friend」(表示されません)を入力します。
- プロンプトが表示されたら、以下の set ip int コマンドを入力します。
   入力完了し、Enter キーを押した時点で AR550S の IP アドレスが変更されます。
   manager> set ip int=vlan1 ip=任意の IP アドレス mask=任意のサブネットマスク

AR550Sの IP アドレスが変更されると telnet が無反応になりますので、telnet を終了してください。

4. PC の IP アドレスとサブネットマスクを、適切な値に変更してください。 デフォルトゲートウェイと DNS サーバアドレスは 3 で設定した IP アドレスとします。

## <手順2>

PC 上で Web ブラウザを起動し、アドレス「http://192.168.1.1/」を開きます。 手順1で IP アドレスを変更された場合は、変更した IP アドレスに読み替えてください。

ユーザー名とパスワードの入力を求められますので、ユーザー名に「manager」、パスワードに 「friend」を入力してログインします。ログインに成功すると、以下の画面が表示されます。

AR550S )	ルーター		
	システムステータス		0+00 000000000000000000000000000000000
	バージョン 2.8.1 シリアル 番号 D5BS540GQ		100000 martine
ヘルプ 保存 終了			
⊞クイックスタート	2		AR5509
⊕設定	Civil Civil		
甲モニタリング	ETH1 ETH0 5 4	3 2 1	Active
ロシステム  - ステータス			
- ハードウェア情報 フォローディングDB			
- ARPキャッシュ			
IP往路表 PPP限度値	Date & Time 03-Apr-2007 14:20	Utilisation 0	100%
Pingポーリング 毎日グの閲覧	Cutana far Dahar Share Zarin taa	CPU use 0	100%
n m	System up for ju days a hours 7 minutes	Buffer use 0	100%
	System name	Core temp 1	100°C
田ネットワーク診断	System contact	Fan state	
	Custom Investiga		
	System location		

※機器の状態によって、表示内容が異なる場合がございます。



### <手順3>

インターネットプロバイダへの接続方法'(固定 IP/PPPoE/DHCP)により手順が異なります。 固定 IP の場合は **手順3-A** を、PPPoE の場合は **手順3-B** を、DHCP の場合は **手順3-C** をご覧下さい。

#### <手順3-A : 固定 IP の場合>

左側のメニューから「クイックスタート」→「WAN」を選択します。 「ファイアウォール NAT」にチェックを入れ、「固定 IP アドレス」を選択します。

「IP アドレス」「サブネットマスク」「ゲートウェイ」「プライマリーDNS」「セカンダリーDNS」を入力し、 「DNS リレーを使用する」にチェックを入れます。

WAN側インターフェース ethD マ		ッイアウォールNAT NAT)を有効にする
接続モード © 固定IPアドレス IPアドレス 10 0 0 254 ネットマスク 255 0 0 0 ダートウェイ 10 0 1	○ PPPoE フロバイダー名 (英数字のみ) ユーザー名 スワード	О DHCP
DN5 サーバー(オブション) オライマリー DN5 10 . 0 . 0 . 1	<b>セカンダリー DNS</b> 10 . 0 . 0 . 2	DNSリレーを使用する

入力が完了したら、「適用」を押します。

※赤丸で囲まれた項目を設定してください。

手順3-Aの設定は以上です。手順4へ進みます。



#### <手順3-B: PPPoEの場合>

左側のメニューから「クイックスタート」→「WAN」を選択します。 「ファイアウォール NAT」にチェックを入れ、「PPPoE」を選択します。

「プロバイダ名」は任意の内容を入力いただき、「ユーザー名」「パスワード」には プロバイダから通知されている PPPoE ユーザー名、パスワードを入力します。

「プライマリーDNS」「セカンダリーDNS」は、プロバイダから通知されている DNS サーバアドレスを 入力します。サーバアドレスを自動取得する場合は、プライマリー/セカンダリーとも空欄にします。

入力が完了したら、「DNS リレーを使用する」にチェックを入れて「適用」を押します。

WAN個インターフェース ethD マ	✓ ファイアウォールNAT (ENAT)を有効にする
接続モード 〇 固定IPアドレス	O DHCP
IPアドレス プロパイダー名 (英 ネットマスク ユーザー名 レー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<b>数字のみ</b> }
DNS サーバー(オブション)     オライマリー DNS       ブライマリー DNS     セカンダリー DNS       10     0     1	☑ DNSリレーを使用する
適用	

※赤丸で囲まれた項目を設定してください。

Г

次に、左側のメニューから「設定」→「レイヤー2」→「PPP」を選択します。 以下の画面が表示されますので、 ppp0 を選択し「変更」を押します。

インターフェージ	ス レイヤー1	۶Ł	ユーザー名	パスワード	通信時間の 限度値	リンク状態の 監視	有効	
© ppp0	eth0	isp	username	password		LQR	Yes	
	追加			変更		削除		

「PPP インターフェースの設定変更」が表示されますので、「リンク状態の監視」を「None」に変更して 「適用」を押します。前画面に戻りますので、再度 ppp0 を選択し「変更」を押します。

「リンク状態の監視」を「Echo」に変更して「適用」を押してください。

		ヘルプ
PPPインターフェース	▼ 有効にする	
レイヤー1 インターフェース	<b>H</b> د	
」etn∪ ▲ ユーザー名	sp パスワード	
username リック状態の監視	password 通信時間の限度値	
Echo		(時間)
適用 適用		キャンセル

### ppp0 の「リンク状態の監視」が「Echo」と表示されていれば正しく設定されています。

<u> </u>	ーフェース	<b>レ</b> イヤ−1	۶Ł	ユーザー名	パスワード	通信時間の 限度値	リンク状態の 監視	有効	
0	рррО	eth0	isp	username	password	$\sim$	Echo	Yes	
L		追加	]	2	変更		肖明時	ž.	
			-						

手順3-Bの設定は以上です。手順4へ進みます。



#### <手順3-C: DHCP の場合>

左側のメニューから「クイックスタート」→「WAN」を選択します。 「ファイアウォール NAT」にチェックを入れ、「DHCP」を選択します。

「プライマリーDNS」「セカンダリーDNS」には、プロバイダから通知されている DNS サーバアドレスを 入力します。サーバアドレスを自動取得する場合は、プライマリー/セカンダリーとも空欄にします。

入力が完了したら、「DNS リレーを使用する」にチェックを入れて「適用」を押します。

WAN側インターフェース ethD ▼ 接続モード	✓ ファイアウォールNAT (ENAT)を有効にする
○ 固定IPアドレス	O PPPoE O DHCP
IPアドレス ネットマスク ゲートウェイ	フロバイダー名(英数字のみ) ユーザー名 パスワード
カトラーバー(オプション)           オライマリー DNS           10         0         1	セカンダリー DNS 10 . 0 . 2
	適用

※赤丸で囲まれた項目を設定してください。

手順3-Cの設定は以上です。**手順4へ**進みます。



### <手順4>

左側のメニューから「設定」→「DHCP サーバー」→「設定」を選択します。 「DHCP ポリシー」から base を選択し、「変更」を押します。

DHCPサーバー ✓ DHCPサーバーを使用する DHCPポリシー						
ポリシー名	ゲートウェイ ルーター	レンジ名	DNS サーバー	リース期限		
(● base	5 192.168.1.1	Ian		7200		

「DHCP ポリシー設定の変更」が表示されますので、「DNS サーバー1」を「192.168.1.1」に設定します。

手順1で AR550S の IP アドレスを変更している場合は、「ゲートウェイルーター」「DNS サーバ1」を 変更後の IP アドレスに設定し、「クライアントサブネットマスク」もあわせて設定してください。

入力が完了したら、「適用」を押します。

<b>ポリシー名</b> base	<b>リース期限</b> 7200
ドメイン名	MTU値
ゲートウェイ ルーター 192 _ 168 _ 1 _ 1	<b>クライアントサブネットマスク</b> 255 255 255 0
DN5 サーバー1 192 . 168 . 1 . 1	DNSサーバー2
	適用

手順1で AR550S の IP アドレスを変更していない場合は「閉じる」を押し、手順5に進みます。



AR550S GUI 設定例

手順1で AR550S の IP アドレスを変更している場合は、DHCP レンジを作り直す必要があるため 「DHCP レンジ」に表示されるレンジ(初期状態では lan)を選択して「削除」を押します。

次に、「追加」を押すと「DHCP IP アドレスレンジの追加」が表示されますので 「DHCP レンジ名(任意の名前)」「始点 IP アドレス」「IP アドレス数」に適切な値を設定してください。

入力が完了したら「適用」を押していただき、「閉じる」を押します。

<b>ポリシー名</b> base	DHCPレンジ名 lan
<b> 先点IPアドレス</b> 192 . 168 . 1 . 10	<b>IPアドレス数</b> 100 (1-255)
適用	キャンセル

※ DHCP レンジの「始点 IP アドレス」には、ゼロを含むアドレスを指定する事ができません。 ※「172.16.0.1」などゼロを含むアドレスを指定する場合は「キャンセル」を押してから「閉じる」を ※ 押して、DHCP レンジを空欄にしておきます。



AR550S GUI 設定例

## く手順5>

画面左上の「保存」を押すと「設定の保存」が表示されますので、 「新規ファイル」を選択し任意の名前(ここでは router.cfg とします)を入力します。

「起動時にこの設定を使用する」にチェックを入れて、「実行」を押すと設定内容が保存されます。

¢	1	設定の保存 - Mic	rosoft Internet Explorer		×
		現在の設定を	次のとおり保存する:		
		O Boot			
		○ 現在の 設定	flash:boot.cfg		
		○ その他	boot.cfg 💌		
	<	<ul> <li>① 新規ファ</li> <li>① イル</li> </ul>	ರ∋ಶಾಶಿച 💌 : ro	uter .c	fg
	4	▶ 起動時に	この設定を使用する	$\geq$	
		実	Ť	キャンセル	

AR550SのIPアドレスを 192.168.1.1 から変更しておらず、 手順3の「DNS サーバ」-「プライマリーDNS」「セカンダリーDNS」を入力している場合は 以上で設定完了です。

AR550Sの eth0 ポートに回線終端装置を接続し、通信確認を行ってください。

手順3で「プライマリーDNS」「セカンダリーDNS」を入力していない場合や、 手順5の DHCP レンジが入力できなかった場合は 手順6へ進みます。



### <手順6>

左側のメニューから「管理」→「設定スクリプトファイル」→「追加、編集」を選択します。 保存したファイル名(ここでは router.cfg とします)を選択し、「編集」を押していただくと 「設定ファイルの追加、編集」が表示されます。

手順3で「プライマリーDNS」「セカンダリーDNS」を入力していない場合は、 「IP configuration」項目の最後に以下のコマンドどちらか一方を追加します。

add ip dns int=ppp0 (PPPoE の場合) add ip dns int=eth0 (DHCP の場合)

	<b>ファイル名</b> flash:router.cfg	
	# IP configuration	
	enable ip	
	enable ip remote	
	ena ip dnsrelay	
	add ip int=vlan1 ip=192.168.1.1	
	add ip int=ppp0 ip=0.0.0.0	
	add ip rou=0.0.0.0 mask=0.0.0.0 int=ppp0 next=0.0.0.0	
<	add ip dns int=ppp0	
	# IPv6 configuration	

次に、手順5の DHCP レンジが入力できなかった場合は 「DHCP (Post IP) configuration」項目の最後に以下のコマンドを追加します。

cre dhcp range=lan policy=base ip=配布開始 IP アドレス num=配布数

<b>ファイル名</b> flash:router.cfg	
<pre># DHCP (Post IP) configuration enable dhcp create dhcp poli="base" lease=7200 add dhcp poli="base" subn=255.255.0.0 add dhcp poli="base" rou=172.16.0.1 add dhcp poli="base" dnss=172.16.0.1 cre dhcp range=lap policy=base in=172 16 0 10 pum=100</pre>	
# DHCP6 configuration	

追加が完了したら「保存」を押します。



# <手順7>

左側のメニューから「管理」→「ソフトウェア」→「再起動設定」を選択します。 「デバイスの再起動方法」→「コールドスタートを実行します」の右にある「再起動」を押します。

途中、以下の警告ダイアログが表示される場合は「OK」を押してください。

- You are about to reboot the device. Do you wish to continue?
- You have unsaved changes. Do you wish to reboot anyway?

「再起動中です。しばらくお待ちください。」と表示されます。 1~2分お待ちいただくと再起動が完了し、「再起動中です。しばらく…」の画面が消えます。

以上で設定完了です。

AR550Sのeth0ポートに回線終端装置を接続し、通信確認を行ってください。